

## 教養教育海外派遣プロジェクト(第2回) 感謝の声

学部・学年	感謝の声
人文社会科学部 2年	<p>この度はご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ペリリュー島では、慰霊碑や洞窟、銃痕が残るジャングルを訪れ、戦争の爪痕を実際に目にすることで、教科書では得られない戦争の記憶を体感しました。また、ベラウ国立博物館では、パラオが外部の影響を受けつつも文化を守り続けてきたことを学びました。特に印象に残ったのは、当時子どもたちの方が大人よりも日本語を習得していたという話です。教育制度の力が、言語や社会に大きな影響を与えていたことを実感しました。私は、公務員を目指していますが、今回の経験を通じ、制度と文化の関わりについて深く考え、公務員の視野を広げる糧としたいと思います。</p>
教育学部 4年	<p>私はこれまで海外渡航の経験がなく、これからも機会には恵まれないだろうと思っていました。しかしこのプロジェクトが昨年から立ち上がり、海外に行く機会をいただきました。この経験はただの旅行ではなく、学ぶことが多く私費を使っていくプライベート旅行より実りのある体験になりました。この機会を与えてくださったのは大学の取り組みでもありますが、その礎となっているのは弘前大学に寄付をさせていただいた方々のおかげです。これから私も来年には社会人になります。この機会を忘れることなく日々を過ごしていきます。そしていつかは寄附をいただいた方と同じようにお世話になった場所に何かしらの形で恩返しをしていければいいなと思いました。最後に本当にありがとうございました。</p>
教育学部 3年	<p>この度の渡航を通して、現地の方々の温かさや、日本では得られない多くの学びを体験することができました。医療や教育、文化の在り方など、日本と異なる環境の中で工夫しながら生活している姿を知り、自分の視野の狭さに気づかされました。また、日本国内だけに目を向けるのではなく、もっと広く世界で起きている課題や人々の暮らしに目を向ける大切さを学びました。こうした気づきは、今後の学校生活での学び方や将来の進路を考える上で大きな糧になると思います。このような貴重な機会をいただいたことに心から感謝し、学んだことをこれからは活かしていきたいです。</p>
農学生命科学部 1年	<p>弘前大学への寄附をさせていただいてありがとうございます。そのおかげで今回のような素晴らしい体験をすることができました。海外に行くのも飛行機に乗るのも初めてで不安が付きませんでした。その中で資金についての不安がとても少なかったおかげで今回の事業に参加する決意を固めることができました。実際に渡航してみるとパラオ共和国は素晴らしい国で豊かな自然や海を見て心が穏やかになるようでした。しかしペリリュー島ではその自然の中に朽ちた戦車や戦闘機、遺跡などが突然現れて複雑な気持ちになることもありました。このような体験は人生でも何度もできるものではないと考えています。それが実現できたのも寄附をさせていただいた方々のおかげです。本当にありがとうございました。</p>

医学部医学科 2年	このたびは、私たちの海外研修にご支援いただき本当にありがとうございました。パラオでは、病院や大学を訪問し、現地の医療制度や医学教育について学ぶことができました。また、戦跡や博物館を見て歴史を知ること、平和の大切さを強く感じるとともに、日本とパラオの繋がり的重要性を知りました。普段の学生生活では決して得られない体験を通じて、医学生として人間として視野が大きく広がったことを感じています。今回の経験を今後の学びにしっかりと活かしていけるよう努力していきます。ご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。
医学部医学科 2年	この度は、大変貴重な機会をいただき、心より感謝申し上げます。現地では多くの出会いや学びに恵まれ、充実した日々を過ごすことができました。ペリリュー島では史実や戦跡に触れ、命の尊さや戦争の悲惨さを深く感じました。また、戦争の記憶が風化しつつあることを実感して、その事実に向き合い続ける重要性を深く感じました。ベラウ国立病院では医療の現状を知り、自分が将来どのように貢献できるかを考えるきっかけとなりました。加えて、英語で交流できた喜びも大きな財産となりました。今回得た学びを糧に、多角的な視点を持ち、患者さん一人ひとりの物語に寄り添える医師を目指して努力してまいります。いただいた学びと恩恵を必ず社会に還元していく覚悟です。本当にありがとうございました。
医学部保健学科 1年	寄付していただきありがとうございます。パラオに行くことができ、とても嬉しいです。私はペリリュー島での、アメリカ軍に水場を占拠され、兵士たちは水がない中戦っていたという話が印象に残っています。暑い中、水もなく命懸けで戦っていた兵士はどれだけ辛かったのだろうと思いました。またペリリュー島には、いまだに多くの地雷が残っています。死傷者が多く出て、後世に問題を残す戦争はしてはならないと改めて考えました。今回の研修で、自分の英語力の低さと戦争に関しての知識不足を実感しました。これからは語学力を伸ばし、十分な知識をつけられるよう研鑽に励みたいと思います。
医学部保健学科 1年	パラオ派遣に温かいご支援をしていただき誠にありがとうございました。私は将来のことを見据えて、大学在学中に海外へ行ってみたいと考えていました。パラオの人々との交流を通して、パラオがどれほど日本を親しく思っているのか、先進国である私たちの国がどのように思っている国に対してできることは何なのだろうかと考えるいい機会になりました。また、パラオの国立病院や短大を訪問して、日本との考え方や価値観の違いを学ぶことができたと感じます。また、現地で働く日本人と関り、自分に不足している能力や将来の選択肢が増えたと感じます。この経験は私の人生にとって大きな成長となる貴重な経験になったと感じます。改めて今回の派遣にご支援いただき本当にありがとうございました。
医学部心理支援学科 1年	私はこのパラオへの研修を通して通常では得難い体験をさせていただきました。ベラウ国立病院での院内見学、パラオコミュニティカレッジでの学生との交流、ペリリュー島の散策、どれをとっても非常に素晴らしく私を成長させてくれる経験でした。特に心理的ケアを学ぶ身として、海外の心理支援の在り方に早い段階で触れたことは一生の財産になると思っています。また、ペリリュー島の散策を通して今も残る戦争の傷跡を知ることが過去の歴史や生活を学ぶ上で非常に勉強になりました。今後もこの経験を糧に様々な分野への理解を深め、人々に貢献できるよう努めて参ります。この度は大変すばらしい体験をさせていただき、誠にありがとうございました。